

2019年度の 6大 ニュース

プラスチック
使用に関する
基本方針

へらす

事業および組合員家庭で発生する「使い捨てプラスチックの使用量削減」を目指す。

目標 2030年までに
プラスチック使用量を
25%以上削減
(2017年度比)

コープこうべの
プラスチック使用量は

年間 **2439トン**



2020年度は
マイバッグ運動NEXTが
はじまります！

6月1日より全店舗ですべてのレジ袋の
無料配布を中止します。



1 プラスチック削減の 取り組みを強化

商品の容器包装やレジ袋など、組合員のくらしやコープこうべの事業においてプラスチックは多量に使用されています。これまでもマイバッグ運動やリサイクル活動に取り組んできましたが、持続可能な社会づくりに向け、組合員・職員の声に応え、「脱プラスチック」に関する基本方針を2019年2月に策定し、一歩踏み込んだ取り組みをすすめています。

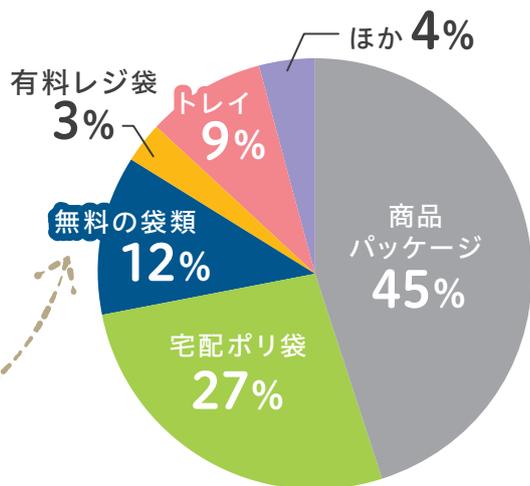


代替・リサイクル

短期的に使用量を減らすことができないプラスチック製品については、再生プラ、紙・バイオプラといった代替素材(再生可能資源)への切替え検討やリサイクル活動をすすめる。

ひろげる

消費者運動と事業体の両面をもつ生協が率先して取り組むことで、地域社会全体の取り組みへと発展させていく。



コープこうべが使用しているプラスチック

2 第1回わたしのSDGs アクションコンテストを募集

持続可能な地域の未来づくりに取り組む活動を募集するコンテストに、120件の応募があり、一次選考を通過した6組が、2月24日生活文化センターにて取り組み事例を発表しました。実際の取り組み事例を紹介することで、SDGsの理解と取り組みの輪を広げています。



Facebookの紹介ページはこちら→



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



グランプリを受賞したSUMUSUMUさん

3 再生可能エネルギー 100%施設が誕生

2020年1月から8つの事業所で使用する電気を、再生可能エネルギー100%に切り替えました。自家消費型太陽光発電による電気を使用し、太陽光発電での不足部分は木質バイオマス発電による電気(FIT電気)を購入します。

事業所 住吉事務所・生活文化センター・生活文化センター西館(神戸市東灘区)、
コープデイズ神戸西(神戸市西区)、コープデイズ豊岡(豊岡市)、
コープ西明石(明石市)、協同購入センター伊丹(川西市)、協同学苑(三木市)



*再生可能エネルギー
100%施設の愛称



←再エネ100%施設の
ページはこちら

4 第3回 商品検査の日のつどいを開催

毎年10月1日を「商品検査の日」として開催する「商品検査の日のつどい」は、ひょうごまるごと健康チャレンジ2019「ほがらかウォーク in 東灘」(自由散策スタイルのウォークイベント)と同日開催しました。両イベントには、それぞれ約300人の参加をいただき、食の安全とともに、ウォーキングを通じて、健康づくりについて考える1日となりました。

「食品添加物・農薬の安全性」の講演では、“食品添加物のマイナスイメージがなくなった”“添加物が使われていても、安心して楽しく食事ができる”という感想や、「100歳まで歩ける体力をつけるコツ」の講演では、“背筋を伸ばしてすっきり歩いて、認知症を予防したい”といった感想が聞かれました。



5 正しい手洗い手順の 普及啓発活動を推進

手洗いは食品衛生の基本の「キ」。食中毒だけでなく、感染症予防にも、とても重要です。さまざまなイベントを通じて「正しい手洗い手順」の普及啓発に取り組み、約1000人が参加しました。

学習会では、ご自身の洗い残しが多い箇所を知っていただくとともに、正しい手洗いの実践により「汚れ度」を示す数値が大幅に減少することを体感しました(手洗い時は30秒以上、2回洗いが効果的であることを紹介しています)。



正しい手洗い手順の体験学習

6 コープの洗剤環境寄付 キャンペーン

コープの衣料洗剤の対象商品を1品購入ごとに、0.5円をWWF(世界自然保護基金)ジャパンへ寄付しました。洗剤に使われているパーム油の原料である「アブラヤシ」をつくる、インドネシア西カリマンタン州の小規模パーム農園の持続可能な社会づくりの活動を支援しています。

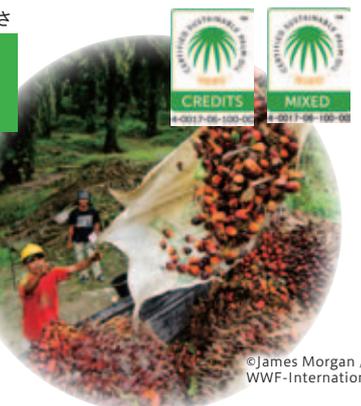


RSPO 認証※商品

※RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)が与える認証。環境問題や労働環境など働く人にも配慮し、適切に管理されたパーム油で作られた商品につけられるマークです。



対象商品の一例
セブターE



©James Morgan / WWF-International